ISSN 0388－5569
VOL. 9 No. 2
（通巻26号）
1988. 6

Library News

山口大学附属図書館報

目次

中国留学回憶
阿部泰記……1
≪お知らせ≫
(1) 外国学術図書の購入について……2
(2) 学術情報センターの新規データベース……3
(3) 雑誌所蔵・受入情報の検索システムが完成（本館）……3
(4) 教官専用複写機のコピーライザーを交換します……3
(5) 蔵書点検に伴い本館開架閲覧室を休室します……4
(6) 図書館事務部の課名変更……4
昭和63年度附属図書館関係
各種委員会委員名簿……4
人事異動……5
日　誌……5
昭和62年度
図書館統計表……6

中国留学回憶

阿部泰記

1984年4月20日から1年間、私は山東大学に進修生として留学した。目的は蒲松齢・李開先など山東省出身作家の研究および古典小説の研究であった。当地に到着して最初に私を待っていたのは「学習旅行」であった。7月に卒業する留学生のために敦煌行きが計画されていた。一行は西安市内と秦始皇陵・華清池・半坡遺跡を見学した後、目的地に直行した。敦煌では、陽関・鳴沙山に足を運び、砂漠の空気を満喫したし、莫高窟の寺院の壁画はすばらしいものだった。研究所の女性所員が2日間つきっきりで各洞窟に描かれた仏教故事の説明をしてくれた。私には第156窟の張義潮出行図が興味深かった。敦煌見学の後、私は帰還する一行と別れ、吐魯蕃（トルファン）・烏魯木斉（ウルムチ）に足をのばしてベゼクリクチ仏洞や天池を訪れ、帰途、蘭州・洛陽・鄭州・開封の諸都市を経由して済南に着いた。

1ケ月間のシルクロード旅行の後、私は「正業」のことを考えた。そこでまず大学図書館を訪ねたが、移転したばかりで閉館中であり、山東省図書館にも行ったが、目当ての資料を捜し出せず、大明湖を散歩して帰るという日が1ケ月続いた。主任教授から便りの催促があったが、「学術交流」は順調ですとはとても返事ができなかった。そこで山東文学の研究は断念し、各地の図書館を見てまわることに決心した。

最初に連絡がとれたのは杭州大学である。私は蘇州で楓橋・虎丘を見た後、蘇杭連絡船で杭州に赴いた。杭州大学では明人解縉の文集『解学士先生集』を閲覧した。日本にないテキストである。また浙江図書館にゆき、『聊斎志異』の一本も見た。西湖・銭塘江を背景にした小説は多く、杭州は是非訪れたかった地である。私は町を歩く中、書場（寄席）を見つけ、評弾（ピンタン）（男女2人が演奏しながら唱う語り物）を聞いた。蘇州語なので話はわからなかったが、初めての体験であった。杭州の後、寧波（ニンポー）に行ったが、そこでは説書（伴奏つきの講談）を聞くことができた。

夏休みはこれということもなく過ぎ、9月になると、私は北京へ出発した。北京大学・北京図書館・首都図書館で閲覧するためである。北京図書館で明人海瑞の裁判説話集『居官公案』と、明代短篇小説の残本『翡翠軒』を読めたのは喜びだった。夜は殆ど毎晩京劇を見に出かけた。王府井の劇場のすぐそばの中央美術学院に宿泊していたため、門限の11時頃まで見ることができた。ちなみに観劇料は一等席で一元（当時100円）で、日本で見る歌舞伎・オペラとは比較にならぬほど安い。

10月中旬、済南に帰ると図書館が開館していたので、時々善本室へ通った。泰山へも旅行があった。

11月初旬、私は上海へ出かけた。上海図書館・復旦大学・華東師範大学にて閲覧したが、就中上海

図書館には各地の図書館の目録が備わっており、書名カードを自由に検索できたので（許可しない図書館も多い）、ありがたかった。『天津図書館小説目録』もここにある。上海でも夜は退屈しなかった。毎晩どこかの劇場で「越劇」を上演していたからである。紹興方言なのでセリフはわからなかったが、歌詞が字幕に写されるのでストーリーは把握できた。また女優だけなので艶麗である。

11月下旬、私は上海から南昌を経て撫州を訪ねた。撫州はもと臨川といい、『牡丹亭還魂記』の作者湯顕祖の生地である。バスは濃霧の山中を2時間走り続け、その間私は生きた心地もしなかった。撫州では記念館の人に説明を受けたが、こんな田舎に大劇作家が生まれたとは信じられない気持だった。

帰途、九江を経て南京に着いたのは12月初旬である。南京では、南京大学と南京図書館を訪ねた。南京図書館では、筆記小説『耳談類増』を読んだ。日本にはないテキストである。

済南に帰ると、翌日から四川への学習旅行が始まると聞き、慌てて準備して同行した。一行は洛陽で龍門石窟・関林（関羽廟）・白馬寺を見学した後、成都へ直行し、蛾眉山の中腹まで登り、市内観光を行った。私は四川図書館を訪ね、『催暁夢』という小説を読んだ。極寒の時節だったので逃げ出したい位だった。帰途は一行と別れ、重慶から長江を下って武漢に出、湖北省図書館を訪ねたが、目当ての書はなかった。

済南に帰って留学生たちと楽しく年を越すと、私は天津へ旅立った。天津図書館には周紹良氏旧蔵の小説が収蔵されている。天津はまた年画（正月の飾り絵）が有名で、『楊家将演義』などの故事が描かれていた。

1月中旬には天津から船で大連に渡った。周知のように大連図書館には、満鉄時代の大谷氏旧蔵の小説戯曲が多数蔵されている。私は『詳刑公案』『連城壁』という小説の写本を読んだ。

2月中旬、私は青島を経て済南に帰った。何故か故郷に帰った思いがし、済南なまりの会話に愛着を覚えた。そこで事務員の人をつかまえては話を迫った。たまたま寮に烟台出身の学生が住んでおり（留学生と同室していた）、彼女の話す烟台方言に耳を傾けた。

3月中旬、延辺大学への閲覧の旅に出た。吉林省延吉市にあり、住民は殆ど朝鮮族である。ここでは朝鮮語まじりの古典小説を読んだ。日本の漢文訓読に相当する表記が漢字に付されている。帰途、私は山西へ迂回し、介休・洪洞・臨汾という古典戯曲ゆかりの地を訪ね、月末に済南に戻った。この時、指導教官の世話で、李開先の故居に案内され、族譜などの資料を見ることができた。また博物館所蔵の『聊斎志異』の抄本のコピーを閲覧し、本来の目的を些か達成することができた。そして私は4月上旬に済南を離れ、広州の中山図書館で閲覧を済ませた後、帰国の途についた。

（人文学部助教授）

≪ お知らせ ≫

(1) 外国学術図書の購入について

文部省では、近年における学術研究の急速な進展に伴い、国際的に評価の高い外国学術図書を国立大学図書館で購入すべく、その経費を昭和62年度補正予算に計上しました。

今回の外国学術図書の整備に当っては、地区の拠点図書館が置かれている大学を中心に、重点的に予算配分し、図書の効果的利用を促すため、全国大学間で共同利用が図られるよう配慮されています。本学には約2,120万円の配分枠があり、購入手続は、当地区の拠点図書館（広島大学）で行うことになりました。本学では、これを受けて9月7日（月）に附属図書館運営委員会を開き、当予算の趣旨説明を行い、次いで選書方針について審議され、各学部及び教養部に購入図書の推せんを依頼することになりました。その結果、9月末日に集計したリストを広島大学へ送付し、購入手続が行われまし

正　誤　表

頁	誤	正
1の目次	昼間逸郎	昼馬逸郎
1の2行目	2回に互って	2回に亙って
3の1行目	両日に互って	両日に亙って
3の24行目	一定の資検基準	一定の資格基準
3の37行目	Read Only Memory	Read Only Memory
4の2行目	2日間に互る	2日間に亙る
4の7行目	昼間逸郎	昼馬逸郎

た。本学受入の外国学術図書は266種、2,365冊です。全て整理は終了しておりますので、ご利用下さい。

(2) 学術情報センターの新規データベース

昭和63年4月から学術情報センターは新たに下記の6つのデータベースの情報検索サービスを開始しました。

これに伴い附属図書館本館が行っている代行検索サービスにおいても検索が可能ですのでご利用下さい。

記

データベース名	データ件数	更新頻度	内容・作成機関
EMBASE	25万件 1987以降	週次	Excerpta Medica誌に対応する医学・薬学分野の文献抄録データベース。 オランダElsevier Science社作成。
Sci Search	60万件 1987以降	週次	Science Citation誌に対応する自然科学分野の論文及び引用情報の索引データベース。 米国Institute for Scientific Information社作成。
Social Sci Search	13万件 1987以降	週次	Social Science Citation Index誌に対応する社会科学分野の論文及び引用情報の索引データベース。 米国Institute for Scientific Infomation社作成。
A & H Search	12万件 1987以降	週次	Arts & Humanities Citation Index誌に対応する人文科学分野の論文及び引用情報の索引データベース。 米国Institute for Scientific Information社作成。
学会発表データベース第一系（電気・情報・制御関連）	約2,000件	月次	電気・情報・制御関連等7学会の全国大学・研究会の発表概要データベース。 学術情報センター作成。
データベース・ディレクトリ	約500件	年次	大学等で作成されているデータベース及び大学等で情報検索サービスが行われているデータベースのディレクトリ。 学術情報センター作成。

(3) 雑誌所蔵・受入情報の検索システムが完成（本館）

昨年秋、利用者用端末機から図書目録の検索が可能になったのに続き、このたび雑誌の所蔵・受入情報の検索システムが完成し、本年7月初旬から利用できるようになりました。

検索の対象となる雑誌は、本館（在山地区）で所蔵・受入しているもので、和雑誌は1984年8月以降受入されたものから最新の受入情報まで、洋雑誌は過去の所蔵情報から最新受入情報までの検索ができます。和雑誌の所蔵情報は、本年度中にデータベース化され、来春には検索できるようになる予定です。受入情報は日々更新されますので、個々の雑誌の最新の到着状況の確認も可能です。

検索は端末機の画面の指示に従い、比較的簡便に操作できるよう工夫されておりますが、くわしくは『雑誌所蔵検索の手引き』をごらんください。また利用に際し、わかりにくい点や、お気づきのことがありましたら、係員まで、お申し出ください。

(4) 教官専用複写機のコピーライザーを交換します

新年度から更新しております教官用複写機は5月17日（火）から新しいカードでなければ複写できません。従来のカードとの交換は参考係で行っています。お申し出下さい。

(5) 蔵書点検に伴い本館開架閲覧室を休室します

本年も夏期休業期間中、下記の期間閲覧カウンター業務を休止し、開架閲覧室の蔵書点検を行いますので、ご協力の程お願いします。なお、第３閲覧室及び新聞閲覧室は、平日17時、土曜日は、12時30分まで開室します。

記

昭和63年８月８日（月）から13日（土）まで

(6) 図書館事務部の課名変更

近年、教育・研究情報は急速に増大、多様化していますが、大学図書館は大学の学術に関する情報センターとして、このような状況に積極的に対応していくことが必要です。

国立大学図書館の事務組織も、今日の大学図書館に求められる多様な機能を遂行するにふさわしい形態に改善することの一つとして、昭和63年度から、以下のように課名が変更されました。

整理課　→　情報管理課
閲覧課　→　情報サービス課

昭和63年度附属図書館関係各種委員会委員名簿

☆　運営委員会

◎印は委員長

◎小川　國治（館　　長）	竹尾　和典（医学部分館長）	早野　延男（工学部分館長）
添田建治郎（人文学部）	阿部　泰記（人文学部）	伊東　　斌（教育学部）
重岡　　徹（教育学部）	下和田　功（経済学部）	河野　眞治（経済学部）
永井　克彦（理 学 部）	内藤　博夫（理 学 部）	黄　　基雄（医 学 部）
日高　照晃（工 学 部）	飴山　　實（農 学 部）	西頭　徳三（農 学 部）
小杉　健三（教 養 部）	中野　良弘（教 養 部）	篠崎　文彦（附属病院）
緒方　幡典（医療技術短期大学部）	藤本　幸雄（工業短期大学部）	

☆　本館図書委員会

◎小川　國治（館　　長）	遠藤　　徹（人文学部）	平田　昌司（人文学部）
伊東　　斌（教育学部）	中尾　佳行（教育学部）	下和田　功（経済学部）
河野　眞治（経済学部）	宮川　　勇（理 学 部）	磯崎　行男（理 学 部）
飴山　　實（農 学 部）	西頭　徳三（農 学 部）	松井　幸子（教 養 部）
谷口　　仁（教 養 部）	前川　英夫（事務部長）	

☆　医学部分館図書委員会

◎竹尾　和典（分 館 長）	黄　　基雄（基　　礎）	篠崎　文彦（臨　　床）
芳原　達也（基礎・助講）	小田　裕胤（臨床・助講）	緒方　幡典（医療短大）

☆　工学部分館図書委員会

◎早野　延男（分 館 長）	山田　英己（機　　械）	中邑　義則（資　　源）
土屋　　晋（工　　化）	古川　浩平（土　　木）	福政　　修（電　　気）
北川　亮三（生　　彦）	大佐々邦久（化　　工）	田中　正吾（電　　子）
兵動　正幸（建　　設）	弥永　　学（共　　通）	古賀　和利（工　　短）
藤本　幸雄（工　　短）		

人事異動

〔配置換〕（63. 4. 1）

原田　　豊	情報管理課総務係長（経理部経理課共済係長から）
岡田　　隆	情報管理課整理係（情報サービス課参考係から）
中川　秀夫	情報管理課受入係（情報管理課総務係から）
大沢　晴昌	情報サービス課閲覧係（情報サービス課雑誌係から）
吉光　紀行	情報サービス課参考係（情報サービス課雑誌係から）
浅井　雅子	情報サービス課参考係（情報管理課受入係から）
牧原　和仁	医学部管理課用度第二係長（情報管理課総務係長から）

日　　誌

2月18日（木）	第51回附属図書館運営委員会
〃　〃	第23回本館図書委員会
2月22日（月）	工学部分館図書委員会
3月4日（金）	昭和62年度附属図書館職員研修会：中国学のデータベース化について （講師　京都大学人文学研究所附属東洋学文献センター 助教授　　勝　村　哲　也
4月9月（土）	附属図書館本館新入生オリエンテーション
〃　〃	医学部及び医療短期大学部新入生オリエンテーション
〃　〃	工学部及び工業短期大学部新入生オリエンテーション
4月19日（火）	第15回国立大学図書館協議会中国・四国地区協議会（鳥取大）
4月20日（水）	第36回中国・四国地区大学図書館協議会（鳥取大）
4月25日（月）	医学部分館図書委員会
5月18日（水）	工学部分館図書委員会
5月19日（木）～20日（金）	第59回日本医学図書館協会総会（大阪市）
5月24日（火）	昭和63年度国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大）

昭和62年度図書館統計表

Ⅰ　蔵　書　数（昭和63年３月31日現在）

区　　分	図　書（冊数）			雑　誌（種類数）		
	和	洋	計	和	洋	計
本　　館	667,332	255,836	923,168	7,452	3,025	10,477
医学部分館	69,554	61,419	130,973	1,164	1,111	2,275
工学部分館	71,692	43,404	115,096	1,193	885	2,078
計	808,578	360,659	1,169,237	9,809	5,021	14,830

Ⅱ　年間受入数

区　　分	図　書（冊数）			雑　誌（種類数）		
	和	洋	計	和	洋	計
人文学部	3,008	1,474	4,482	200	154	354
教育学部	3,790	1,025	4,815	369	249	618
経済学部	3,920	1,888	5,808	1,276	605	1,881
理学部	164	990	1,154	47	204	251
農学部	480	208	688	74	114	188
教養部	2,846	1,687	4,533	187	321	508
学生相談所					5	5
保健センター	22	3	25	9	2	11
埋蔵文化財資料館				7		7
本　　館	3,563	2,498	6,061	2,086	427	2,513
小　　計	17,793	9,773	27,566	4,255	2,081	6,336
医学部分館	2,281	2,488	4,769	795	758	1,553
工学部分館	2,157	1,707	3,864	752	717	1,469
合　　計	22,231	13,968	36,199	5,802	3,556	9,358

Ⅲ　利用統計

区　分	開館日数(日)		入館者数(人)			館外帯出者数(人)			館外帯出冊数(冊)		
	時間内	時間外	時間内	時間外	計	時間内	時間外	計	時間内	時間外	計
本　館	290	194	211,165	38,080	249,245	24,407	6,721	31,128	45,116	12,313	57,429
	一日平均		728	196	—	84	35	—	156	63	—
医学部分館	296	260	32,919	20,926	53,845	13,922	8,389	22,311	28,267	15,847	44,114
	一日平均		111	80	—	47	32	—	95	61	—
工学部分館	289	195	60,833	15,484	76,317	7,334	2,894	10,228	13,260	4,829	18,089
	一日平均		210	79	—	25	15	—	46	25	—

Ⅳ　文献複写（件数）

区　　分		学内者			学外者	他大学等			合　計
		私費	公費	小計	私費	私費	公費	小計	
電子式複写	本　　館	1,062	268	1,330	454	441	961	1,402	3,186
	医学部分館	3,876	7,945	11,821	5,524	1,358	1,478	2,836	20,181
	工学部分館	231	15,407	15,638	188	39	666	705	16,531
	合　　計	5,169	23,620	28,789	6,166	1,838	3,105	4,943	39,898
印画引伸	本　　館	0	0	0	0	0	0	0	0

編集・発行　山口大学附属図書館　〒753　山口市大字吉田　電話(0839) 22—6111　内線788